

HA-7MUL-CONT-4

■ 一般仕様

機能	
表示出力	3線式シリアル伝送方式
最大表示桁数	100桁
通信機能	RS-485 1ポート
拡張機能	アナログ電圧入力 (0~1V)
	デジタル入力 (フォトカプラ)
	デジタル出力 (オープンドレイン)
	カレンダー機能付きリアルタイムクロック
定格	
電源電圧	DC24V
消費電流	最大300mA
動作温度	0~40℃
保存温度	-15~85℃ (結露なきこと)

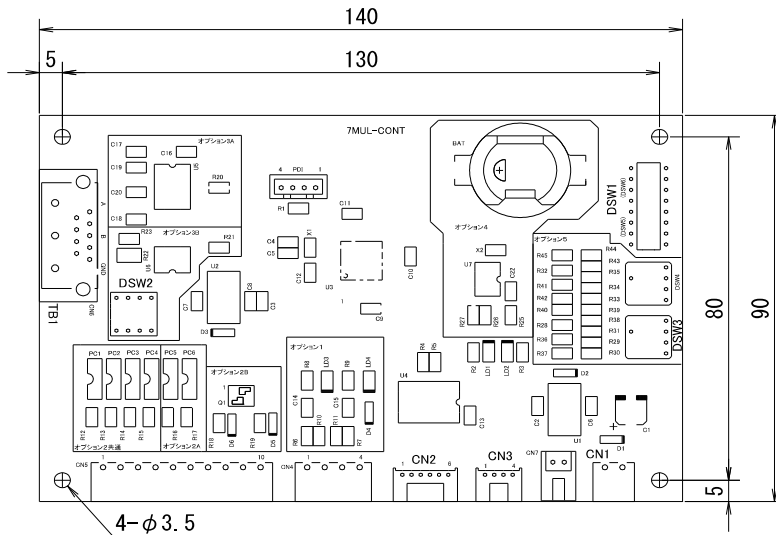
付属品 : CN1用コネクタ端子台(オムロン製XW4B-02B1-H1) 1個

■ 通信インターフェース仕様

RS-485	
ボーレート(bps)	(9600bps)・38400bps・230.4kbps・1Mbps
伝送方式	半2重
データビット長	8bit
パリティビット	なし
ストップビット	1bit
同時接続台数	16台

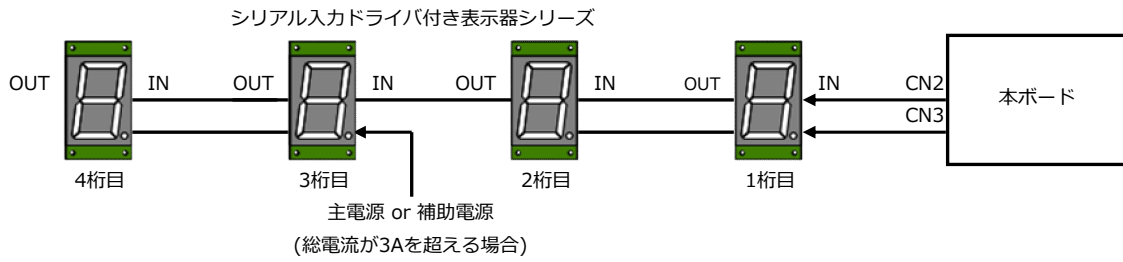
※ ()内は出荷時標準設定です。

■ 外観・寸法



HA-7MUL-CONT-4

■ 表示器の接続



- ※ 表示器には弊社製のシリアルドライバ付き7セグメント表示器シリーズ (RSDVシリーズ) をお使いください。
- ※ 表示器用電源出力(CN3)へ流入する電流は3Aを限度としてください。
これを超える場合は表示器の電源ケーブルを分割し、直接主電源へ接続するか補助電源をお使いください。

■ コネクタ

CN1. 電源

オムロン XW4A-02B1-H1

1	+24V
2	GND

ケーブル側 XW4B-02B1-H1

CN2. 表示出力

日本圧着端子 S6B-PH-K-S

1	ENB	表示制御
2	LATCH	書込制御
3	CLOCK	伝送クロック
4	DATA1	表示データ1
5	DATA2	表示データ2
6	GND	グラウンド

ケーブル側コネクタ

ハウジング: PHR-6

コンタクト: SPH-002T-P0.5S
(適用電線AWG28~24)

※任意長のケーブル作成お預りします

CN3. 表示器用電源出力

日本圧着端子 S4B-PH-K-S

1	+24V
2	+24V
3	GND
4	GND

ケーブル側コネクタ

ハウジング: PHR-4

コンタクト: SPH-002T-P0.5S
(適用電線AWG28~24)

※任意長のケーブル作成お預りします

TB1. RS-485

IDEC BP101S (M3ねじ端子)

A	+データ
B	-データ
G	グラウンド

接続端子は幅6mm以下のものをご使用ください。

HA-7MUL-CONT-4

■ スイッチ

DSW1. 設定ディップスイッチ

1	ボーレート(bps)	OFF	9600bps	ON	38400bps	OFF	230.4Kbps	ON	1Mps
2		OFF		ON		ON			
3	未使用								
4	未使用								
5	未使用								
6	未使用								
7	未使用								
8	未使用								

DSW2. RS-485設定ディップスイッチ

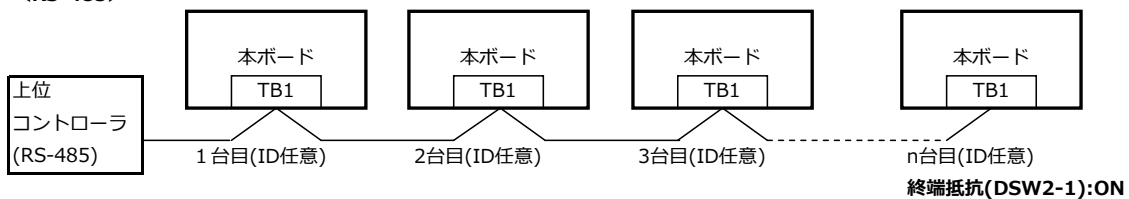
1	RS485終端抵抗	OFF	なし	ON	あり
2	RS485バイアス+	OFF	なし	ON	あり
3	RS485バイアス-	OFF	なし	ON	あり
4	未使用				

DSW3. IDスイッチ (RS-485仕様のみ)

装置IDを0~15で指定します。

■ 接続形態と設定

<RS-485>

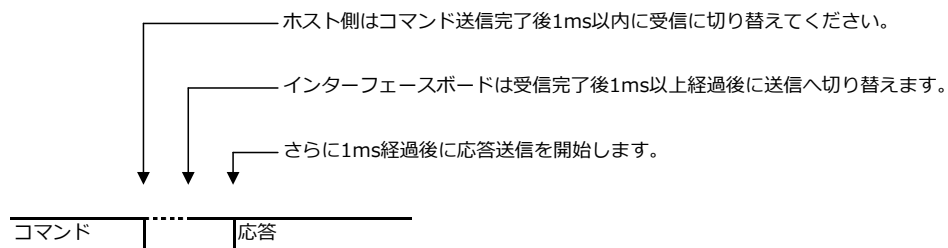


- ・ 最大16台まで渡り配線で接続できます。
- ・ 各ボードにID0~15を重複の無いように設定します。
- ・ 上位コントローラから最も遠いボードは『RS485終端抵抗(DSW2-1)』をONにします。

■ RS-485接続の送受信切替タイミング

RS-485通信では、どちらも送信をしていないときは電線が開放されていてノイズが乗りやすい状態になっており、送信切替後に直ちにデータを送るとノイズによる偽データとの切り分けができず、通信エラーとなる場合があります。これを避けるために、本インターフェースボードでは送信切替後に1キャラクタ分以上の無送信時間として1msのアイドル時間を設けています。

ホスト側においても、送信状態での無送信時間を作るか、それが難しい場合はコマンドの前に0xFFのダミーバイトを付加して送信することを推奨します。



■ 拡張機能について

ご要望に応じて拡張機能を使用したシステムを構築しますので、弊社までお問い合わせください。